

仙台市より掃除活動で表彰されました。

写真「左」が宮城掃除に学ぶ会に参加されている仙台市議会議員「跡部 薫」さん、中央が多賀城掃除に学ぶ会「小畑貞雄」さん、右が元宮城掃除に学ぶ会事務局長「沼田勝雄」さんです。



2024.9.18.環境局 国分町のゴミ(カラス対策)
令和5年度仙台市一般会計決算歳出第5款 環境費から
中心部における事業ごみ等についてお尋ねする。

I. 生ごみの対策

あるボランティア団体の活動、国分町のゴミを拾う団体。

「仙台を美しくする会」という名称。

中心人物の3名に加え毎月10数名が10年以上にわたり、第3日曜日の早朝、
元鍛冶町公園に集まり、ボランティア活動として汗を流している。

その皆さんから、お話を伺った。

国分町…東北最大の歓楽街、知名度のある本市のナイトスポット、「夜の玄関口」。

コロナ禍以降の現状は、賑わいが戻りつつある。

夕方、夜、そして朝方までエネルギッシュな人々で満ち溢れている。

一方で団体の皆さんによると、ゴミの集積所には、

相変わらず朝方になると、「たばこの吸い殻・空き缶・ペットボトル・割りばし・残飯」な
ど、目を覆いたくなる惨状にあり、10年ほど前から改善が見られていない、とのこと。

- ① 集積所の現状について、事業ごみの処理形態・家庭ごみとの扱いの違いなど、
あらためて確認する。
- ② 市内中心部・国分町広瀬通から定禅寺通り・トラヤ屋横丁地区の、飲食店から排
出される、生ごみ回収用の集積所、様々課題が見られ、要望が出ていたが、その
後改善したか。
- ③ この地区で現在実施されているモデル事業の
『定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業』について、概要を伺う。
- ④ 事業ごみは、店舗側の協力が大きいと感じる。これまで店舗側に対し、
どのように働きかけ、お願いをしてきたのか、取り組みをお尋ねする。
- ⑤ 今後、当局は、モデル事業等を通じて、本市の魅力の一部、『夜の玄関口』でもあ
る国分町の「街の美化」について、適切かつ継続的な対応を求めるか、いかがか。